LR5-LAN ソケット通信 サンプルプログラム (Windows Python)

内容

LR:	5-LAN ソ	/ケット通信 サンプルプログラム(Windows Python)	1
1.	概要		4
	1.1. シ	ステム概要	4
2.	開発環	境	4
3.	アプリケ	ァーション概要	5
;	3.1. ⊐ [.]	マンド操作説明	5
	3.1.1.	コマンド一覧	5
	3.1.2.	動作制御コマンド	6
	3.1.3.	クリアコマンド	6
	3.1.4.	状態取得コマンド	6
;	3.2. 関	数説明	7
	3.2.1.	関数一覧	7
	3.2.2.	LR5-LAN に接続	8
	3.2.3.	ソケットをクローズ	8
	3.2.4.	コマンドを送信	9
	3.2.5.	PNS コマンドの動作制御コマンド送信	
	3.2.6.	PNS コマンドのクリアコマンド送信	11
	3.2.7.	PNS コマンドの状態取得コマンド送信	11
;	3.3. 定	数説明	
	3.3.1.	製品区分	
	3.3.2.	PNS コマンド識別子	
	3.3.3.	PNS コマンドの応答データ	
	3.3.4.	動作制御コマンドの LED ユニットパターン	
	3.3.5.	動作制御コマンドのブザーパターン	
;	3.4. デ	ータクラス説明	
	3.4.1.	動作制御データクラス	
	3.4.2.	動作制御の状態データ	
4	4. プロ?	グラム概要	
4	4.1. LF	R5-LAN に接続	
4	4.2. ソ [.]	ケットをクローズ	
4	4.3. ⊐	マンドを送信	
4	1.4. PN	NS コマンドの動作制御コマンド送信	
4	4.5. PN	NS コマンドのクリアコマンド送信	

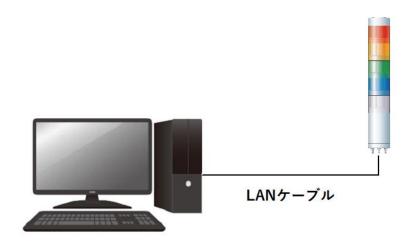
1. 概要

LR5-LAN をソケット通信で制御するための、サンプルプログラムの概要を記載する。 本プログラムは、パトライトが提供する DLL を使用せずに Python での制御をおこなうことを目的としている。

1.1. システム概要

本プログラムのシステム構成図は以下の通り。

本プログラムでは、1 台の LR5-LAN の機器をソケット通信で制御を行う。



2. 開発環境

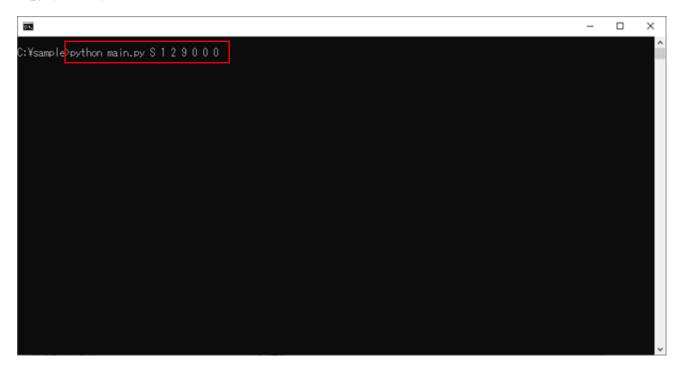
サンプルプログラムの開発環境を以下に示す。

開発環境		備考
開発 OS	Windows11 64bit	
開発言語	Python	3.6 以降

3. アプリケーション概要

3.1. コマンド操作説明

コマンドプロンプト上では、main.py のファイルの場所に移動して、コマンドライン引数を指定することで各動作のコマンドを実行される。



3.1.1. コマンド一覧

コマンド名	内容
動作制御コマンド	LED ユニットの各色のパターンとブザー(吹鳴・停止)を制御する
クリアコマンド	LED ユニットを消灯し、ブザーを停止する
状態取得コマンド	ED ユニットおよびブザーの状態を取得する

3.1.2. 動作制御コマンド

以下のコマンドライン引数を指定して、コマンドを実行する

No.	コマンドライン引数	值
1	コマンド ID	S
2	LEDユニット赤	消灯:0
3	LEDユニット黄	点灯:1
4	LEDユニット緑	点滅 (低速):2
5	LEDユニット青	点滅 (中速):3
6	LEDユニット白	点滅 (高速):4
		シングルフラッシュ:5
		ダブルフラッシュ:6
		トリプルフラッシュ:7
		変化なし:9
7	ブザーパターン	停止:0
		吹鳴:1
		変化なし:9

例:python main.py S 1 2 9 0 0 1

3.1.3. クリアコマンド

以下のコマンドライン引数を指定して、コマンドを実行する

No.	コマンドライン引数	值
1	コマンド ID	С

例:python main.py C

3.1.4. 状態取得コマンド

以下のコマンドライン引数を指定して、コマンドを実行する

No.	コマンドライン引数	值
1	コマンド ID	G

例:python main.py G

3.2. 関数説明

3.2.1. 関数一覧

関数名	説明
socket_open	LR5-LAN に接続する
socket_close	ソケットをクローズする
send_command	コマンドを送信する
pns_run_control_command	PNS コマンドの動作制御コマンド送信する
pns_clear_command	PNS コマンドのクリアコマンド送信する
pns_get_data_command	PNS コマンドの状態取得コマンド送信する

3.2.2. LR5-LAN に接続

関数名	socket_open(ip: str, port: int)	
パラメータ	ip: str	LR5-LAN の IP アドレス
	port: int	LR5-LAN のポート番号
戻り値	なし	
説明	指定した IP アドレスとポート番号の Li	R5-LAN にソケット通信で接続する
関数の使用方法	# socket パッケージのインポート	
	import socket	
	# socket クラスのインスタンスを定義	
	_sock: socket.socket = socket.socket(socket.AF_INET, socket.SOCK_STREAM)	
	# メイン関数 def main(): # LR5-LAN に接続 socket_open('192.168.10.1', 10000))
備考	プログラムの概要は「4.1LR5-LAN に接続」を参照	

3.2.3. ソケットをクローズ

関数名	socket_close()
パラメータ	なし
戻り値	なし
説明	LR5-LAN に接続したソケットをクローズする
関数の使用方法	# メイン関数
	def main():
	# LR5-LAN に接続
	socket_open('192.168.10.1', 10000)
	# ソケットをクローズ
	socket_close()
備考	プログラムの概要は「4.2 ソケットをクローズ」を参照

3.2.4. コマンドを送信

関数名	send_command(send_data: bytes) -> bytes	
パラメータ	send_data: bytes	送信データ
戻り値	bytes	受信データ
説明	接続した LR5-LAN にデータを送信し	て、応答データを返す
関数の使用方法	# メイン関数	
	def main():	
	# LR5-LAN に接続	
	socket_open('192.168.10.1', 1000(0)
	try:	
	# 送信データを作成	
	send_data = b'¥x41¥x42¥x53	¥x00¥x00¥x00¥x01'
	 # コマンドを送信	
	=	and data)
	recv_data = send_command(send_data)	
	finally:	
	# ソケットをクローズ	
	socket_close()	
備考	プログラムの概要は「4.3 コマンドを送	信」を参照

3.2.5. PNS コマンドの動作制御コマンド送信

関数名	pns_run_control_command(run_control_data: PnsRunControlData)		
パラメータ	run_control_data:	LED ユニットの各色のパターンとブザーを制御	
	PnsRunControlData	する送信データ	
		詳細は「3.4.1 動作制御データ」を参照	
戻り値	なし		
説明	PNS コマンドの動作制御コマンドを送	信して、LED ユニットの各色のパターンとブザー	
	を制御する		
関数の使用方法	# メイン関数		
	def main():		
	# LR5-LAN に接続		
	socket_open('192.168.10.1', 1000	0)	
	try:		
	# PNS コマンドの動作制御:	コマンド送信	
	# LED パターン 0:消灯		
	# LED パターン 1 : 点灯		
	# LED パターン 2: 点滅(低退		
	# LED パターン 3: 点滅(中退	- '	
	# LED パターン 4: 点滅(高速)		
	# LED パターン 5:シングルフラッシュ		
	# LED パターン 6:ダブルフラッシュ		
	# LED パターン 7:トリプルフラッシュ		
	# LED パターン 9:変化なし		
	# ブザーパターン 0:停止		
	# ブザーパターン 1: 吹鳴		
	# ブザーパターン 9:変化なし		
	run_control_data = PnsRunControlData(
	PNS_RUN_CONTROL_LED_ON,		
	PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_SLOW,		
	PNS_RUN_CONTROL_LED_NO_CHANGE,		
	PNS_RUN_CONTROL_LED_ OFF,		
	PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_TRIPLE,		
	PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_RING		
	pns_run_control_command(run_control_data)		
	finally:		
	# ソケットをクローズ		
	socket_close()		
	555,155,51555,7		
備考	プログラムの概要は「4.4PNS コマンド	の動作制御コマンド送信」を参照	

3.2.6. PNS コマンドのクリアコマンド送信

関数名	pns_clear_command()
パラメータ	なし
戻り値	なし
説明	PNS コマンドのクリアコマンドを送信して、LED ユニットを消灯し、ブザーを停止する
関数の使用方法	# メイン関数
	def main():
	# LR5-LAN に接続
	socket_open('192.168.10.1', 10000)
	try:
	# PNS コマンドのクリアコマンド送信
	pns_clear_command()
	finally:
	# ソケットをクローズ
	socket_close()
備考	プログラムの概要は「0
	PNS コマンドのクリアコマンド送信」を参照

3.2.7. PNS コマンドの状態取得コマンド送信

関数名	pns_get_data_command() -> 'PnsStatusData'	
パラメータ	なし	
戻り値	PnsStatusData	状態取得コマンドの受信データ(LED ユニット
		およびブザーの状態)
		詳細は「3.4.2 動作制御の状態データ」を参照
説明	PNSコマンドの状態取得コマンドを送ん	信して、LED ユニットおよびブザーの状態を取得
	する	
関数の使用方法	# メイン関数	
	def main():	
	# LR5-LAN に接続	
	socket_open('192.168.10.1', 10000	0)
	try:	
	# PNS コマンドの状態取得コマンド送信	
	status_data = pns_get_data_command()	
	<u> </u>	
	finally:	
	# ソケットをクローズ	
	socket_close()	
144.4-		
備考	┃ プログラムの概要は「4.6PNS コマンド	の状態取得コマンド送信」を参照

3.3. 定数説明

3.3.1. 製品区分

定数名	値	説明
PNS_PRODUCT_ID	b' AB'	LR5-LAN の製品区分

3.3.2. PNS コマンド識別子

PNS_RUN_CONTROL_COMMAND	b'S'	動作制御コマンド
PNS_CLEAR_COMMAND	b'C'	クリアコマンド
PNS_GET_DATA_COMMAND	b' G'	状態取得コマンド

3.3.3. PNS コマンドの応答データ

定数名	値	説明
PNS_ACK	0x06	正常応答
PNS_NAK	0x15	異常応答

3.3.4. 動作制御コマンドの LED ユニットパターン

定数名	値	説明
PNS_RUN_CONTROL_LED_ON	0x00	消灯
PNS_RUN_CONTROL_LED_OFF	0x01	点灯
PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_SL	0x02	点滅(低速)
OW		
PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_M	0x03	点滅(低速)
EDIUM		
PNS_RUN_CONTROL_LED_BLINKING_HI	0x04	点滅(低速)
GH		
PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_SI	0x05	シングルフラッシュ
NGLE		
PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_D	0x06	ダブルフラッシュ
OUBLE		
PNS_RUN_CONTROL_LED_FLASHING_T	0x07	トリプルフラッシュ
RIPLE		
PNS_RUN_CONTROL_LED_NO_CHANGE	0x09	変化なし

3.3.5. 動作制御コマンドのブザーパターン

定数名	値	説明
PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_STOP	0x00	停止
PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_RING	0x01	吹鳴
PNS_RUN_CONTROL_BUZZER_NO_CHA	0x09	変化なし
NGE		

3.4. データクラス説明

3.4.1. 動作制御データクラス

名前	PnsRunControlData
名前 定義	Class PrsRurControlData: """ operation control data class"" definit(self, led_red_pattern: int, led_amber_pattern: int, led_green_pattern: int, led_blue_pattern: int, led_white_pattern: int, buzzer_mode: int): operation control data class Parameters led_red_pattern: int
	LED White pattern buzzer mode: int
	data = struct.pack(
説明	動作制御コマンドで送信するデータエリアの LED ユニットの各色のパターンとブザー の状態のデータクラス

3.4.2. 動作制御の状態データ

```
名前
                         PnsStatusData
定義
                         class PnsStatusData:↓
                               status data of operation control‴"↓
                           def_init_(self, data: bytes):↓
                              status data of operation control.
                              Parameters↓
                              data: bytes
                              Response data for get status command↓
                              self._ledPattern = data[0:5]↓
self._buzzer = int(data[5])↓
                           @property4
                           def ledPattern(self) → bytes:↓
"""LED Pattern 1 to 5"""↓
return self_ledPattern[:]↓
                           @property↓
                           def buzzer(self) → int:↓
""buzzer mode""↓
                              return self._buzzer↓
説明
                         動作制御の状態取得コマンドの応答データの LED ユニットおよびブザーの状態のデ
                         一タクラス
```

4. プログラム概要

プログラムの動作を要点のみ記載する。

4.1. LR5-LAN に接続

プログラム	説明
main.py _sock: socket.socket = socket.socket(socket.AF_INET, socket.SOCK_STREAM)	→ソケットのグローバル変数を定 義
main.py socket_open() def_socket_open(ip: str, port: int): Connect to LR5-LAN Parameters ip: str IP address port: int	→ソケットの connect メソッドで機 器に接続

4.2. ソケットをクローズ

プログラム	説明
main.py socket_close()	
def_socket_close():	
Close the socket.	
_sock.close()	→ソケットのクローズメソッドを呼び出す

4.3. コマンドを送信

各コマンドの送信データフォーマットの送信データを作成し、LR5-LAN にコマンドデータを送信する 各コマンドの送信データフォーマットは「4.4PNS コマンドの動作制御コマンド送信」以降を参照

プログラム	説明
main.py send_command()	
$\textit{def}_{\underline{\ \ }\underline{\ \ }\underline{\ \ }\underline{\ \ }\underline{\ \ }\underline{\ \ }\underline{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ }\mathrm{\ \ \ }\mathrm{\ \ }$	
Send command	
Parameters	
send_data: bytes send data	
Returns	
recv_data: bytes ,,,,received data	
#Send _socksend(send_data)	→作成した送信データを send メソッドで送信
# Receive response data recv_data = _sock.recv(1024)	 →送信後に recv メソッドで機器からのレスポンスを取得
return recv_data	

4.4. PNS コマンドの動作制御コマンド送信

main.py pns_run_control_command() # Create the data to be sent send_data = struct.pack(プログラム	説明
raise ValueError('negative acknowledge') 正常応答: ACK(0x06) 異常応答: NAK(0x15)	main.py pns_run_control_command() # Create the data to be sent send_data = struct.pack(→struct モジュールの pack 関数で送信データを作成(※) →動作制御データクラスの get_bytes メソッドのバイナリをデータエリアとして追加 →「4.3 コマンドを送信」を呼び出し、機器にデータを送信 →送信後に応答データを確認 正常応答: ACK(0x06)

※データエリアは後から付加するため、フォーマットには「製品区分」~「データサイズ」までを定義する。

4.5. PNS コマンドのクリアコマンド送信

プログラム	説明
main.py pns_clear_command()	
# Create the data to be sent send_data = struct.pack('>2ssxH', # format PNS_PRODUCT_ID, # Product Category (AB) PNS_CLEAR_COMMAND, # Command identifier (C) 0, # Data size)	→struct モジュールの pack 関数で送信データを作成
#Send PNS command	→「4.3 コマンドを送信」を呼び出し、機器にデ
recv_data = send_command(send_data)	一タを送信
# check the response data if recv_data[0] == PNS_NAK:	→送信後に応答データを確認
raise ValueError('negative acknowledge')	正常応答: ACK(0x06)
	異常応答: NAK(0x15)

4.6. PNS コマンドの状態取得コマンド送信

プログラム	説明
main.py pns_get_data_command() # Create the data to be sent send_data = struct.pack(→struct モジュールの pack 関数で送信データを作成
# Send PNS command recv_data = send_command(send_data) # check the response data if recv_data[0] == PNS_NAK: raise ValueError('negative acknowledge') status_data = PnsStatusData(recv_data) return status_data	→「4.3 コマンドを送信」を呼び出し、機器にデータを送信 →送信後に応答データを確認 正常応答: ACK(0x06) 異常応答: NAK(0x15) →応答データを動作制御の状態データクラス のコンストラクタに渡し、解析後のインスタン スを関数の戻り値とする